

2日（木）、医学検査学科で約3週間にわたる「冬の暗記大会」がスタートしました。

これは昨年から始めた試みで、コロナ禍でも楽しく国家試験対策に取り組んでほしいと、4年生を対象にした自由参加型の国家試験対策です。

楽しくみっちり3週間

医学検査学科4年

国家試験ではどうしても「覚えなくてはいけない」項目がありますが、なかなか一人でそれらに挑むのは苦しいものです。暗記大会では各分野の重要項目が示された暗記用シートが配られ、暗記ができた学生は解答用シートに暗記した内容を記入していきます。1回で完璧に覚えられた学生には大きなスタンプを、1回では覚えられなかった学生には小さなスタンプを専用シートに押すことで、スタンプを集める達成感も味わってもらっています。

国家試験まであと2か月ほどとなりました。少しでも笑顔と一緒に国家試験勉強に励んでもらえればと思います。

（医学検査学科・田邊香野）



「言語聴覚障害ドリル集」完成

5年がかりの労作

診断と治療社より依頼をいただいてから5年の歳月を要し、この度やっと『言語聴覚障害ドリル集』＝写真＝が完成しました。全国各地で活躍されている先生方に執筆を手伝っていただき、本学からも井崎基博准教授、宮本恵美准教授、兒玉成博講師が執筆陣に名を連ねました。

このドリル集は「失語症」「音声障害」などの項目ごとに計10冊あり、国家試験対策に活用できる様々な言語聴覚障害別症状や評価法、訓練方法等の要点をまとめています。もちろん、日頃の講義の予習、復習や実習前の知識の整理にも役立てることが出来ます。B4判、60～84ページとコンパクトな作りになっていますので、図書館や書店でお目通しいただければ幸いです。

（言語聴覚学専攻・大塚裕一）



サイエンス
カフェ

治療より予防...ワクチン接種呼び掛ける

「忘れられている破傷風」

図書館・学術研究部主催の「サイエンスカフェ」が11月30日（火）、1300L講義室であり、大学院2年の志多田千恵さん（生物毒素・抗毒素共同研究講座）が「忘れられている破傷風」と題して研究発表を行いました。学生を含め計44人が参加。

破傷風は菌が体内に侵入すると毒を生み、舌のもつれや開口障害から重篤な場合は呼吸筋の麻痺によって窒息することもある感染症です。志多田さんは、破傷風菌を発見したニコライヤーや北里柴三郎博士の業績に触れながら、マッチ棒のような形態や特徴、4種類ある破傷風の分類、4段階にわたる病期などを解説しました。発表では、熊本県の破傷風感染者の90%以上を40歳以上の方が占めるというデータも紹介。志多田さんは「破傷風は治療より予防が重要で、抗体価の低下が顕著な成人へのワクチン接種の推奨や啓蒙活動が必要」と語りました。



発表する志多田さん

憧れのカタツムリ「ジャム」



リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻
平江満充帆教員

私は幼い頃からナメクジやアサリのような軟体動物に興味津々だった。特に魅了されたのがカタツムリである。小学校の帰り道、ふとアスファルトの上をみると七色に光る筋を見つけた。その筋を辿ると、草むらに向かってゆっくりと進むカタツムリの姿があった。カタツムリが通った跡は、まるで道に虹が架かったかのようにキラキラと輝いていた。この出来事をきっかけとして私はカタツムリについて調べ始め、30匹以上を飼育していた時期もあった。カタツムリは生まれた時から殻を背負っており、傷ついた殻の修復は自分自身

で行うため、生まれながらにして自立して暮らしているカタツムリに私は幼いながらも感心していた。

また、ちょうどその頃NHKで「ジャム・ザ・ハウスネイル」という家を背負ったカタツムリのアニメが放送されており、主題歌の「猫が猫であるように犬が犬であるように全身全霊 僕でありたい」という歌詞が今も心に強く残っている。

お互いの個性を認め合える優しい心を持ち、自立して自分らしく生きているカタツムリのジャムに憧れる気持ちは幼い頃から少しも変わっていない。

銀杏アラカルト

◆12人が健康食品管理士試験に挑む 日本食品安全協会の健康食品管理士認定試験が11月21日（日）、本学1301M講義室で実施され、医学検査学科の学生12人が試験に臨みました。健康食品管理士は国家資格ではありませんが、いわゆる「健康食品」についての高い科学的な知識を有し、臨床検査技師としての仕事に有用です。本学は同協会の認定校に指定されており、一定の教科を修得した学生のみが受験できます。松本珠美准教授は「健康食品と呼ばれるものの中にはたくさん採ることで血液を使った臨床検査に影響が出たり、本来の病気に対して処方されたお薬の邪魔をしたりすることがあります」と専門的な知識を得ることの意義を話しました。ここ数年、本学受験者の健康食品管理士認定試験の合格率は100%を誇っています。

◆助産別科は50人受験 4日（土）、令和4年度の助産別科一般入試と認定看護師教育課程（脳卒中看護分野）の入試が実施され、助産別科（一般入試募集人員10人）に50人、認定看護師教育課程（脳卒中看護分野＝定員6人）には11人が受験しました。助産別科は専門科目と小論文の筆記試験を、認定看護師教育課程（脳卒中看護分野）は筆記試験（専門科目と小論文）に加えて面接試験も行われました。助産別科の受験者数は例年になく多く、認定看護師教育課程は九州圏外からも多数の受験者を集めました。合格者は助産別科が10日、認定看護師教育課程が21日に発表されます。（入試・広報課）

インフォメーション

週間行事予定（12月11日～12月17日）	
12 / 12（日）	キャンパス見学会
12 / 13（月）	水上村との包括連携協定締結式

※お断り 先週号で予告していましたが「Lovers特集」は、都合により中止します。